



# Deal Capsule



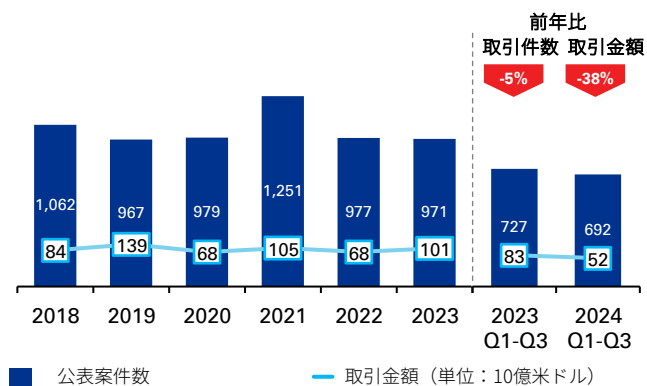
化学セクターにおけるM&A取引

—

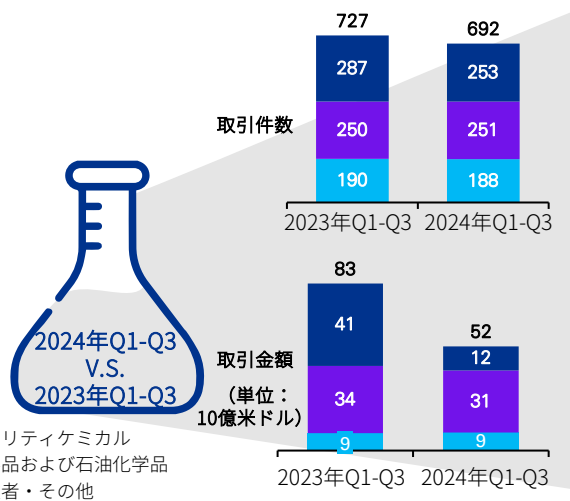
2024年12月

# 化学セクター概況

## 化学セクターにおけるM&A取引の推移



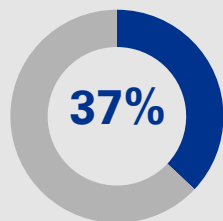
注: 取引金額は小数点以下を切り捨て  
出処: Refinitiv, Mergermarket, Capital IQ, KPMGドイツによる分析



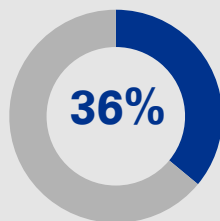
注: 取引金額は小数点以下を切り捨て  
出処: Refinitiv, Mergermarket, Capital IQ, KPMGドイツによる分析

## M&Aハイライト

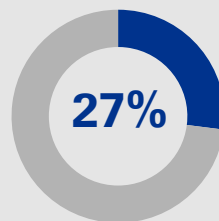
M&A取引の中心カテゴリーはスペシャリティケミカルで、取引全体の37%を占めた



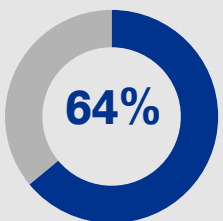
基礎化学品および石油化学品が36%と続き



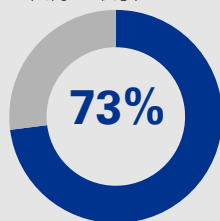
販売事業者・その他は、27%であった



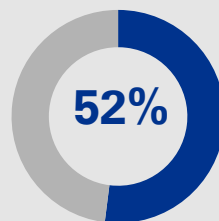
化学セクターを対象会社とするのは主に戦略的投資家で、取引全体の64%



小規模取引が大部分を占め、金額が公表された取引のうち73%が50百万ドル未満の取引であった



一方、取引金額上位10件の合計額は取引総額の52%を示す



出処: Refinitiv, Mergermarket, Capital IQ, KPMGドイツによる分析



2024年第3四半期の化学業界におけるM&A取引は、引き続き減少傾向を辿った。これは主にマクロ経済の不確実性や資本市場のボラティリティに起因する。そのような状況下にあっても、化学企業は生産能力の強化、低炭素ソリューション企業の買収、地理的プレゼンス拡大のための投資を継続し、競争力維持に努めた。サプライチェーンの混乱が収束し、政治情勢の見通しが明らかになるにつれ、年度末にかけて取引は多少勢いを増すと期待される。

**Christian Klingbeil**  
Partner, KPMG Germany

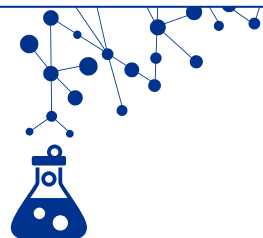
# 化学セクター概況

## 取引の背景

- 化学業界のM&A取引は、2024年上半期の減少傾向を経て、さらに落ち込みました。その主な要因は、エネルギー価格や資金調達コストの増加といった、広範囲の事業環境上の問題です。
- イスラエルとパレスチナの紛争やロシア・ウクライナ戦争、米国の選挙、中国経済の減速など、足元の地政学的な不透明性も取引の低迷を助長しました。
- 2024年第1四半期から第3四半期においては、全体の半数以上を国内取引が占め、化学企業が国内資産の買収に注力していることが示されました。
- サステナビリティ・ESG目標に対する強いコミットメントを背景に、テクノロジー関連取引が大幅に増加する見通しです。
- 加えて金融緩和が予想されることから、2024年第4四半期には戦略的投資家が市場統合、展開地域の拡大、能力強化を推し進め、取引が活性化する可能性があります。
- 保有期間の長いポートフォリオ企業をエグジットさせようとするプライベートエクイティによる取引も増加するでしょう。



- 化学企業の評価額は、基礎化学品および石油化学品サブセクター、販売事業者・その他サブセクターでは前四半期比で増加しており、取引意欲の再燃が見受けられます。
- ただしスペシャリティケミカル分野ではマルチプルが低下しました。
- KPMGのDeal Thermometerによれば、化学業界のM&A取引は回復傾向にあります。取引意欲の高まりと借入水準のわずかな低下が足元の取引環境の特徴です。

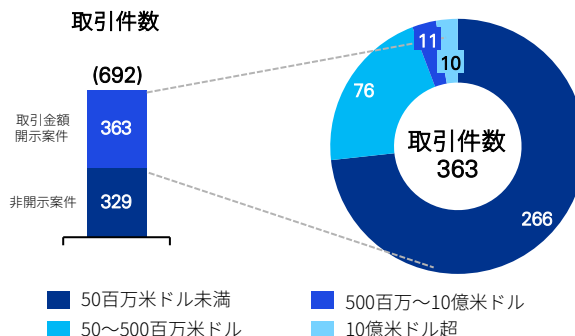


## 今後の見通し

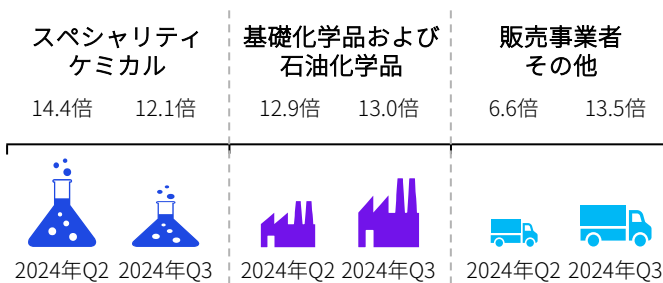
2024年の取引は、第3四半期までは著しく減少したものの、年度末にかけては明るい見通しです。その背景として、中国では目下化学業界の再編が進行しており、グリーンソリューションへの投資も増加しています。さらにプライベートエクイティがポートフォリオの拡大とハイリターン獲得を目指してスペシャリティケミカル企業への関心を強めており、こうした要因がM&A取引の回復を牽引すると期待されます。

## 2024年Q1-Q3のM&A概要

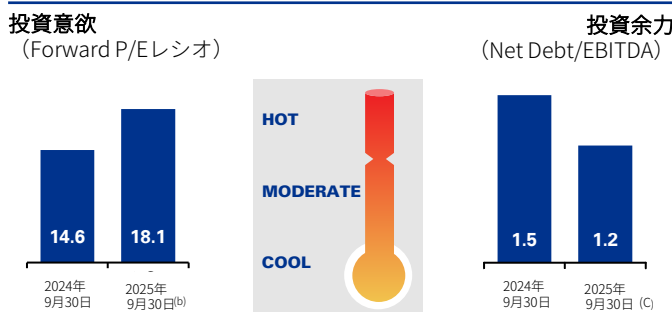
### 公表案件数内訳（規模別）



## サブセクター別上場企業のEBITDAマルチプル<sup>(a)</sup>



## Deal Thermometer 2024年Q1-Q3



注： (a) 各四半期末の90%分位を指す  
(b) Forward P/Eレシオ：2024年の時価総額を2025年の予想純利益で割った数値  
(c) 投資余力：2025年の予想ネットデットを予想EBITDAで割った数値

出処：Refinitiv、Mergermarket、CapitalIQ、KPMGドイツによる分析

# 化学セクター概況

2024年Q1-Q3に公表された  
化学セクターの大型案件<sup>(a)</sup>



2024年Q1-Q3に公表された案件のうち、  
世界上位10件の取引金額：

272億米ドル



うち化学セクターの取引  
金額が占める割合：

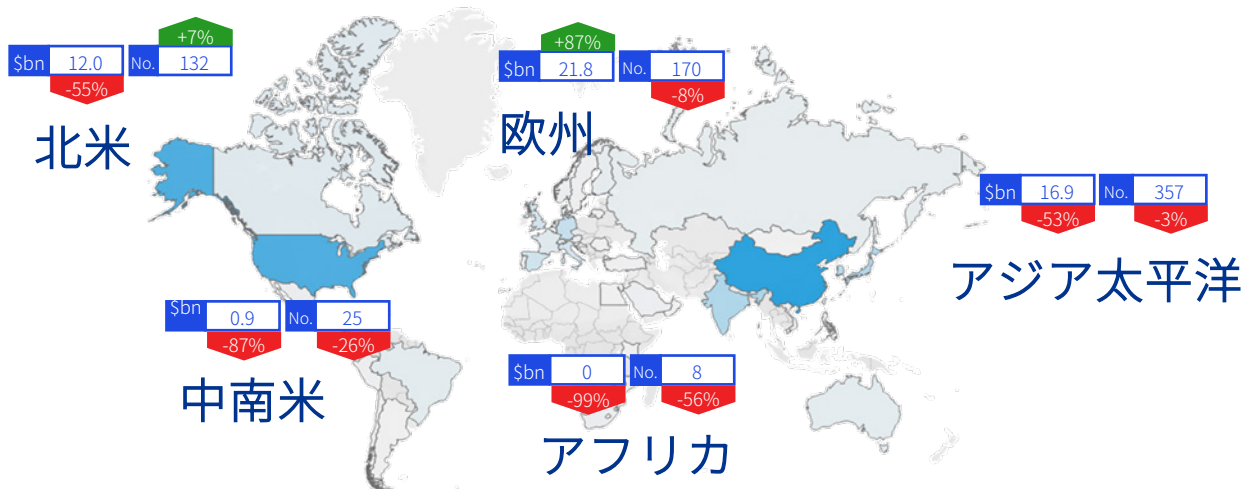
52%

買収企業	被買収企業	分野	事業領域	案件公表日	状態	取引金額 (b)
Abu Dhabi National Oil Co.	Covestro AG	基礎化学品・ 石油化学品	ポリウレタンおよび ポリカーボネート	2024年6月24日	継続中	12.5
Woodside Energy Group Ltd	OCI Clean Ammonia Holding BV	基礎化学品・ 石油化学品	窒素肥料	2024年8月5日	完了	2.4
Methanex Corp	OCI NV-Global Methanol Business	基礎化学品・ 石油化学品	工業用有機化学品	2024年9月9日	継続中	2.1
TJCLP	USALCO LLC	スペシャリティ ケミカル	工業用	2024年8月5日	継続中	2.0
Apollo Global Management Inc.	US Silica Holdings Inc.	販売事業者・ その他	商業用シリカ	2024年4月26日	継続中	1.9
Honeywell International Inc	Air Products & Chemicals Inc	基礎化学品・ 石油化学品	工業用有機化学品	2024年7月10日	完了	1.8
China Salt Lake Industry Group Co Ltd	Qinghai Salt Lake Industry Co Ltd	基礎化学品・ 石油化学品	工業用有機化学品	2024年9月8日	継続中	1.4
Saudi Arabian Mining Co.	Ma'aden Joint Venture	販売事業者・ その他	工業用	2024年9月15日	継続中	1.1
Compagnie de Saint-Gobain S.A.	Fosroc Inc.	スペシャリティ ケミカル	機能化学品	2024年6月27日	継続中	1.0
CAGPC Pte.Ltd.	Shell Energy & Chemicals Park Singapore	基礎化学品・ 石油化学品	工業用有機化学品	2024年5月8日	継続中	1.0

注： (a) フィナンシャルインベスターは斜体表記  
(b) 数字の単位はすべて10億米ドル

出処： Refinitiv、Mergermarket、KPMGドイツによる分析

## 地域別取引件数および金額<sup>(c)</sup>

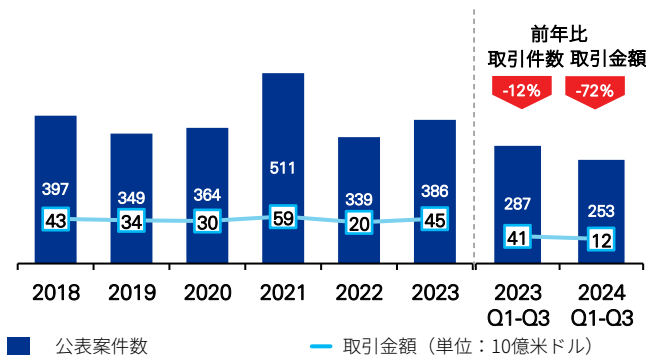


注： (c) 被買収会社の国を取引量に基づき青の濃度で分類

出処： Refinitiv、Mergermarket、KPMGドイツによる分析

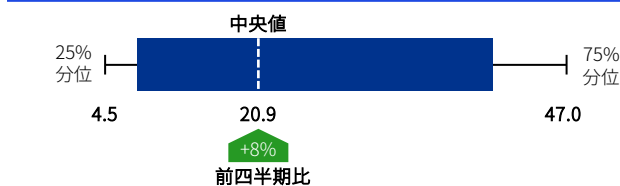


## M&A取引の推移(a)



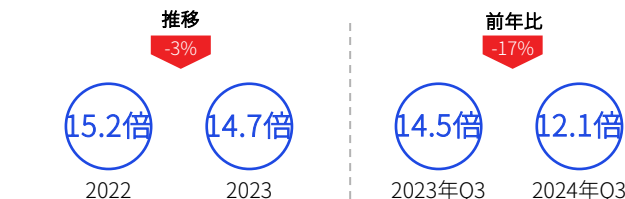
注: (a) 取引金額は小数点以下を切り捨て

## 2024年Q3の取引金額分布(b)



注: (b) 60件の公表取引金額に基づく (単位: 10億米ドル)

## 上場企業のEBITDAマルチプル



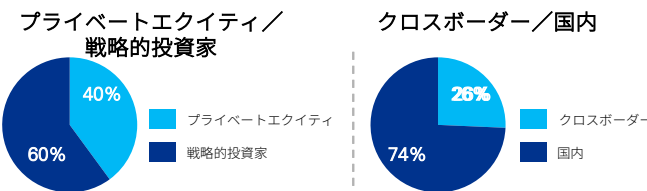
出処: Thomson One、KPMGドイツによる分析

## 概況

業界全体の傾向と同様に、本分野でも取引は引き続き減少し、件数は前年同期比で12%減、金額は72%減となりました。この落ち込みは市場環境全体の問題、すなわち地政学的な不安定性、インフレの継続、金利の上昇、評価額の低さに対する本サブセクターの脆弱性を浮き彫りにしており、投資家は慎重な姿勢を強めています。

なお、プライベートエクイティはこのような環境下でも投資ポートフォリオの拡大を図って活発に取引を続けました。2024年第3四半期の上位5件の取引のうち3件を占めるなど、レジリエンスの高さを発揮して戦略的長期ビジョンを遂行しています。

## ハイライト



## 今後の見通し

スペシャリティケミカル分野における取引は、規制内容が明確化し、グリーンソリューションへの投資が増え、プライベートエクイティがハイリターンを目指して投資ポートフォリオの拡大を図るにつれて勢いを増すでしょう。

## 2024年Q3公表案件トップ5(c)

買収企業	被買収企業	目的	取引金額(d)
TJC LP	USALCO LLC.	特殊凝集剤の事業基盤の拡大およびデジタルサービスの成長加速	2.0
IMM Private Equity Inc. and STIC Investments Inc.	Hyosung Chemical Corporation-Special Gas Division	負債を抱える化学品部門の財務健全化	0.9
Global New Material International Holdings Ltd	Merck KGaA-Surface Solutions Business Unit	顔料ソリューションの製品ポートフォリオ、地理的プレゼンス、市場地位の強化	0.7
American Industrial Partners LP	Nexpera Solution LLC	サステナブルな再生サービスの提供によるクリーン燃料成分の需要増への対応	0.6
Mitsui OSK Lines Ltd	HIF Global LLC	オーストラリア、チリ、米国、ウルグアイにおける合成燃料事業の拡大	0.2

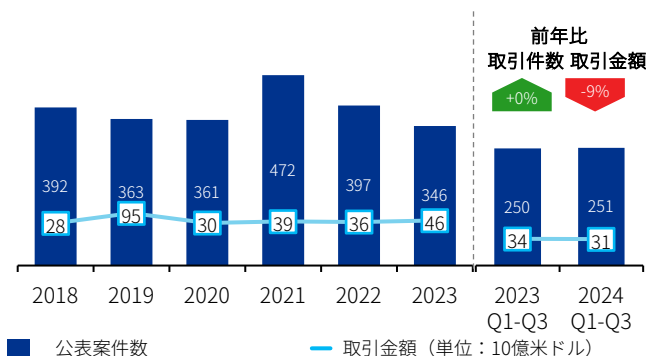
注: (c) フィナンシャルインベスターは斜体表記  
(d) 数字の単位はすべて10億米ドル



# 基礎化学品および石油化学品



## M&A取引の推移(a)



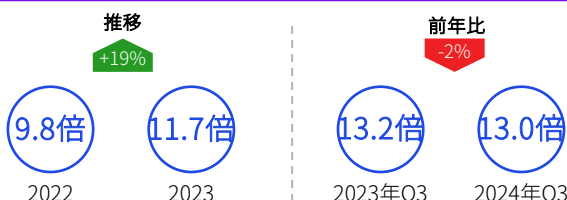
注: (a) 取引金額は小数点以下を切り捨て

## 2024年Q3の取引金額分布(b)



注: (b) 51件の公表取引金額に基づく (単位: 10億米ドル)

## 上場企業のEBITDAマルチプル



出処: Thomson One、KPMGドイツによる分析

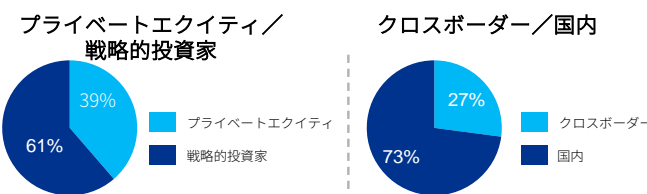
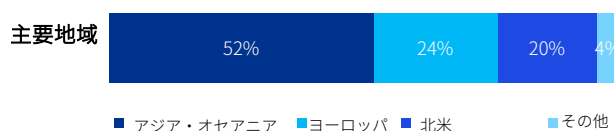
## 概況

2024年第1四半期から第3四半期にかけての本分野における取引は、件数は前年同期比でわずかに増加したものの、金額は引き続き減少傾向にあります。

一次産品および中間製品市場が再び安定化したことで、上流事業では資産売却が進みました。価格が安定し在庫調整が落ち着きを見せる中、企業は景気による変動が激しい不安定なセクターからの戦略的な撤退を目指し、事業再編を検討しています。

また、生産能力の強化、低炭素ソリューション提供企業の取得、地理的プレゼンス強化など、競争力の維持にも注力しています。

## ハイライト



## 今後の見通し

本分野におけるM&A取引は、エネルギー転換のさらなる進展、サステナブルなソリューションへの投資の強化、価格の安定、製品の多角化などに伴って成長が期待されます。事業再編への取り組みが進むにつれて取引はさらに活性化するでしょう。

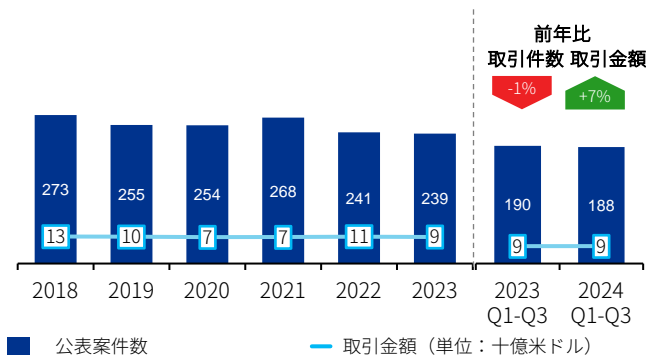
## 2024年Q3公表案件トップ5

買収企業	被買収企業	目的	取引金額(c)
Woodside Energy Group Ltd	OCI Clean Ammonia Holding BV	年間110万トンのブルーアンモニア生産能力を有するOCIクリーンアンモニア事業の取得による、クリーンエネルギー生産能力の強化	2.4
Methanex Corp	OCI NV-Global Methanol Business	北米におけるグローバル生産能力の拡大および物流・事務管理コストの削減等コストシナジーの創出	2.1
Honeywell International Inc	Air Products & Chemicals Inc-LNG Process Technology and Equipment Business	エネルギー転換ポートフォリオの強化による包括的なソリューションの提供	1.8
China Salt Lake Industry Group Co Ltd	Qinghai Salt Lake Industry Co Ltd	生産拠点の設立を通じた、グループ内兄弟会社へのリチウム・カリウム供給力の確保	1.4
Compagnie de Saint-Gobain SA	OVNIVER Group	メキシコ・中米の建設化学品市場における地位強化	0.8

注: (c) 数字の単位はすべて10億米ドル



## M&A取引の推移(a)



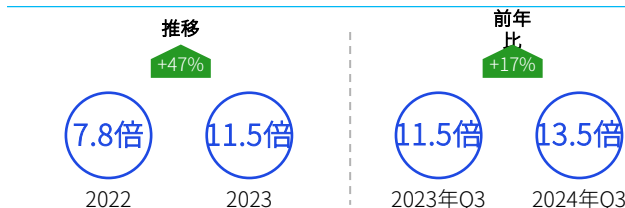
注： (a) 取引金額は小数点以下を切り捨て

## 2024年Q3の取引金額分布(b)



注： (b) 38件の公表取引金額に基づく (単位：10億米ドル)

## 上場企業のEBITDAマルチプル



出処：Thomson One、KPMGドイツによる分析

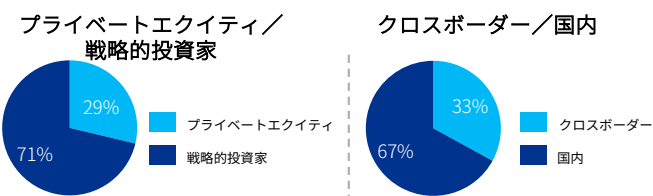
## 概況

2024年の第3四半期までの期間において、販売事業者・その他サブセクターの取引件数は前年同期比で1%減少したものの、取引金額は7%増加しました。これは、企業のM&A取引に対する関心が再び高まり、評価額が大幅に上昇したことの表れと見られます。

直近のサプライチェーンの混乱により在庫水準が上昇し在庫調整が行われていましたが、混乱が収束しはじめ、大手企業は生産能力強化、製品ラインナップの拡大、グローバル展開に集中的に取り組みました。

本分野の取引は小規模案件が中心であったものの、2024年第3四半期には11億米ドル、8億米ドルと、特筆すべき大規模案件も2件見られました。

## ハイライト



## 今後の見通し

本分野では、戦略的投資家が積極的に市場統合、展開地域の拡大、能力拡充を推進しているため、M&A取引は良好に推移する見込みです。在庫調整の収束に伴って需要回復の兆しが見えれば、見通しは一層明るいのとなるでしょう。

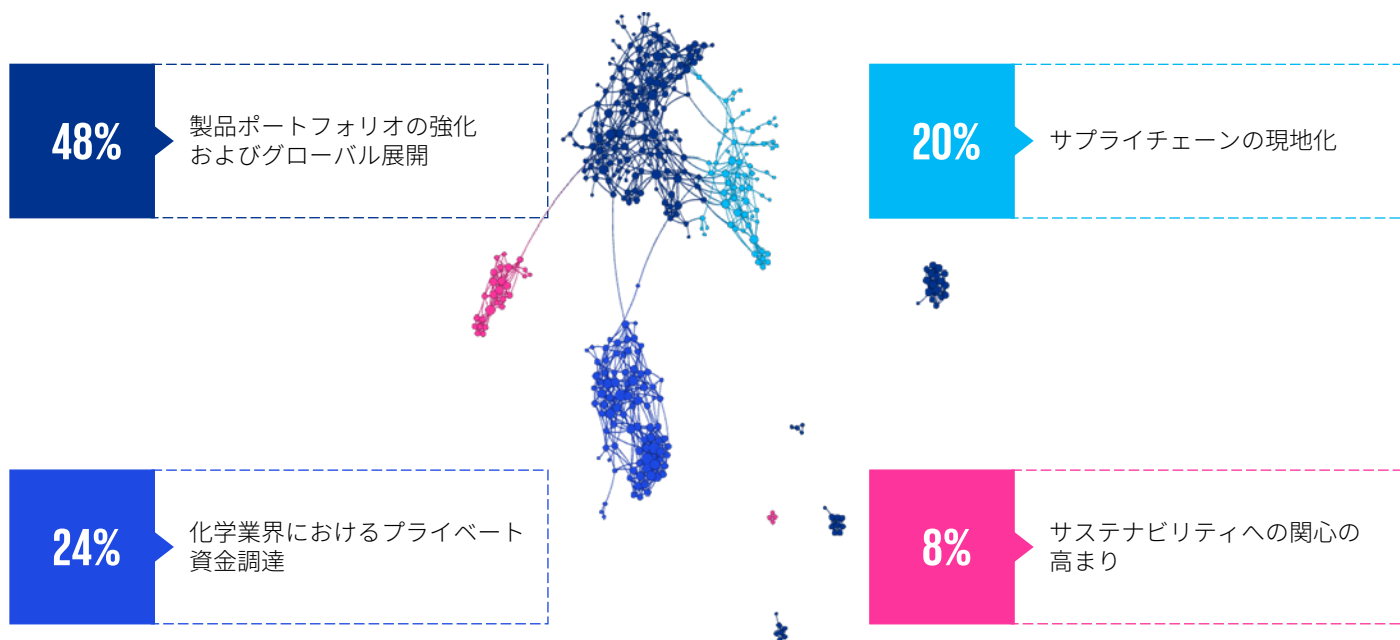
## 2024年Q3公表案件トップ5(c)

買収企業	被買収企業	目的	取引金額(d)
Saudi Arabian Mining Co	Ma'aden Joint Venture	製品ポートフォリオの整理、財務機動性の確保、サウジアラビア全域における市場プレゼンスの強化	1.1
Wuxi Hengxin Optoelectronic Materials Co Ltd	Samsung SDI Co Ltd-Polarizing Film Business	ターゲット企業による中核機能（有機LED、半導体、電池などの材料開発）への集中促進	0.8
American Industrial Partners (AIP) LLC	Austin Powder Holdings Co	ターゲット企業の製品ポートフォリオの強化、イノベーションの加速、新領域への進出促進	0.7
Wuxi Hengxin Optoelectronic Materials Co Ltd	Samsung Sdi Wuxi Co Ltd	電池事業における必要資本の確保および中核機能への集中促進	0.5
Shudao Investment Group Co Ltd	Sichuan Hongda Co Ltd	負債の返済および運転資本の補完	0.4

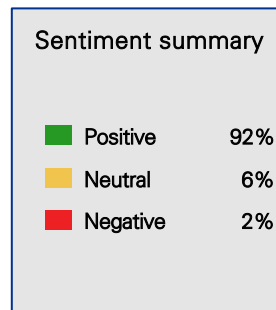
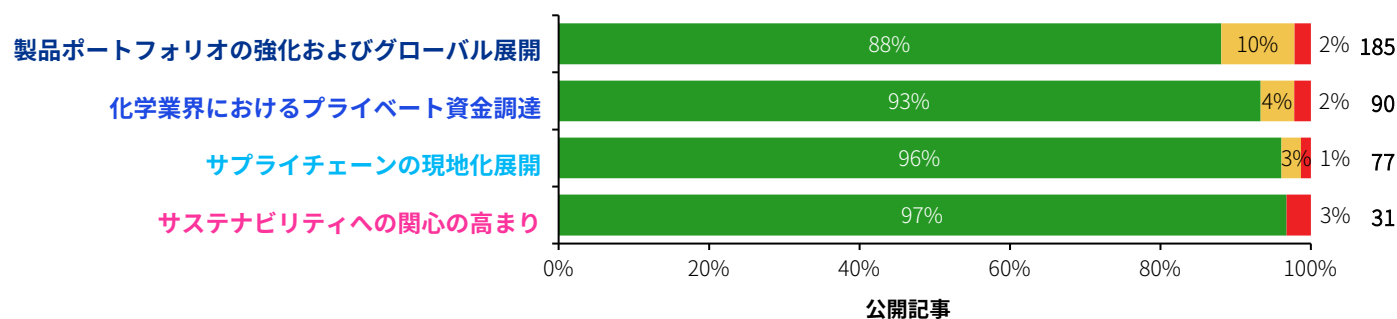
注： (c) フィナンシャルインベスターは斜体表記  
(d) 数字の単位はすべて10億米ドル

# M&A動向まとめ

2024年Q1-Q3に公開された各種ニュース・ブログ記事から抜粋した、化学産業の最新M&A動向を示すキーワード (a) (n=383)



## 2024年Q1-Q3の化学産業動向に対する意識分析 (n=383)



注： (a) Quidの自然言語処理解析 (NLP) に基づく  
出処： Quid、KPMGドイツによる分析



## 本報告書に関する基本事項

本報告書を通じて使用されている取引件数および金額は、2024年9月30日時点でRefinitivのデータベースで提供されている発表日の数字を独自調査により補足したものです。後続の号には発行日以降に入手可能となったデータが反映されるため、過去の号と記載が異なる場合があります。本報告書では少数株主持分の取得、残存持分の取得、資本増強を含む金額公表済みおよび非公表のM&A取引を対象にしており、自社株買いおよび分社化取引は明確に除外しています。各データの合計値と表示された合計値の差異は端数処理の影響によるものです。取引件数および金額は、下記の分野で展開する対象企業を分析して算出しました。

## 化学品

- 粘土、カオリン、セラミック、耐火鉱物
- 化学および非金属鉱業（燃料を除く）
- 肥料・農薬
- 産業用ガス
- スペシャリティケミカル
- 化学品卸売
- プラスチック、ゴム部品

KPMGのDeal Thermometerは、S&P Capital IQから提供された上場企業の財務データを基にしています。これら上場企業は、上記分野で活動する四半期末の時価総額が10億米ドル以上の企業で、化学セクターでは207社が該当します。

## 出処

- Refinitiv (Thomson Reuters)
- S&P Capital IQ
- Mergermarket
- 各社プレスリリース



本冊子は、KPMG AG Wirtschaftsprüfungsgesellschaft（ドイツ）が2024年12月に発行した「Deal Capsule」を、KPMGドイツの許可を得て抄訳したものです。翻訳と英語原文間に齟齬がある場合は、当該英語原文が優先するものとします。

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供するよう努めておりますが、情報を受け取られた時点およびそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2025 Copyright owned by one or more of the KPMG International entities. KPMG International entities provide no services to clients. All rights reserved.

© 2025 KPMG FAS Co., Ltd., a company established under the Japan Companies Act and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved. The KPMG name and logo are trademarks used under license by the independent member firms of the KPMG global organization.

## お問い合わせ先



### Christian Klingbeil

Partner, Deal Advisory  
T +49 89 9282-1284  
cklingbeil@kpmg.com



### 高橋 恵太

KPMG FAS 執行役員パートナー  
KPMGジャパン エネルギーセクター  
化学セクター統轄リーダー

## 執筆者

### Christine Greupner

Senior Manager, Deal Advisory, KPMG in Germany

### Stephan Musfeld

Senior Manager, Deal Advisory, KPMG in Germany

### Alexander Bruns

Deal Advisory, KPMG in Germany

### Abhay Bora

KPMG Global Services

### Shreya Gupta

KPMG Global Services